

凌霜

りょうそう

郡上市の教育理念

【凌霜の心で拓く明日の郡上市】

「凌霜の心」＝高い志と不屈の精神・感謝の心

地域の絆を深め、
笑顔あふれる学校を
目指して

郡上市では、令和6年から12年までの6年間で、小学校児童数が約500人減少することが見込まれています。中でも、美並地域の二つの小学校、三城小学校と吉田小学校の児童数の減少は著しく、6年間で児童数が約半数となり、複式学級となる可能性もあります。また、この2校の校舎は建設後50年が経過しており、その間、大規模改修工事を行っていないことから、老朽化に伴う不具合も多数発生しています。

こうした現状を踏まえ、早期の統合に向けて美並地域のみなさんや保護者のみなさんとの話し合いを重ね地域のこ

理解を得られたこと、関係団体からの要望を受けたことから、統合整備を進めていくことになりました。

この統合小学校整備は、「健康的で安全な施設環境の確保」、「多様な学習内容・学習形態やICTが活用できる環境の確保」、「地域と連携する場の確保」を基本方針とし、郡南中学校のグラウンド内に小中一貫校として木造の新築校舎を整備する計画としています。

今回、まずは郡南中学校敷地内での小学校の新校舎の設計業務や測量業務について、市議会12月定例会において承認をいただきました。今後は、令和7年度にかけて設計・測量業務を行い、令和8年度から建設工事に着手したいと考えています。

また、1月には、統合準備委員会を設置し、各委員へ委嘱書を交付させていただきました。統合準備委員会では、校舎等整備に向けて、学校名や校歌等を検討する「総務部会」、通学方法や通学路の安全対策等を検討する「通学・安全部会」、学習指導計画や学用品等を検討する「学校教育部会」、PTAの組織等を検討する「PTA部会」の4つの専門部会により具体的な協議を進め令和10年4月の開校を目指します。



なお、市内小学校の統廃合については、「公共施設適正配置計画」、「学校規模適正化計画」を基本に段階的に統廃合を検討していくこととしてお

り、市民のみなさんへは、今後も適宜お知らせしていきます。



▶統合準備委員会での委嘱書の交付

問 教育委員会教育総務課

67・1123

